



『SDGs』の目標 1 に貢献します

日本政府の推進する子どもの貧困対策への国民運動 「子供の未来応援基金」へ募金を贈呈 ～全 542 店舗のお会計レジの募金箱で展開～

株式会社イトーヨーカ堂（代表取締役社長：三枝 富博）と株式会社セブン&アイ・フードシステムズ（代表取締役社長：小松 雅美）は、2019年3月1日（金）～5月31日（金）の3ヶ月間、貧困の連鎖の解消により、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指す（推進事務局を内閣府、文部科学省、厚生労働省及び独立行政法人福祉医療機構で構成）に賛同し、会計レジにて「子供の未来応援基金」への募金活動を実施いたしました。

この店頭募金活動に対しお客様・従業員から寄せられた募金金額は、イトーヨーカドー、ザ・プライスで3,777,856円、デニーズ、ファミリーで1,465,892円、合計5,243,748円となり、6月19日（水）に宮腰光寛内閣府特命担当大臣宛てにお届けいたしました。

イトーヨーカ堂は2016年より毎年3月～5月に「子供の未来応援基金」への募金活動を実施しており、今回で4回目の実施となります。また去年から全国のデニーズ全店と、ファミリーの一部店舗にも拡大して実施いたしました。今回の贈呈により、同基金への募金総額は17,587,997円となりました。



イトーヨーカドー、ザ・プライス、デニーズ全店、ファミリーの一部店舗で3月～5月の3か月間募金を受付

代行の小野田 政策統括官
(共生社会政策担当) (写真中央)

イトーヨーカ堂とセブン&アイ・フードシステムズは、一つの社会的課題に偏らず、様々な分野への課題に向き合い、今後もお客様・従業員と共に事業活動を通じた社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

以上